

2024 年 7 月 19 日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者
 - ・氏名（グループの場合は代表者）：
 - ・年齢：
 - ・コールサイン（局免許保有者の場合）：
 - ・連絡先 住 所：
 - メール：
 - ・（グループの場合）代表者以外の構成員の氏名・年齢：
2. 提案カテゴリー（A または B を選択）
 - ☒ A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア
 - B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイデア
3. アイディア名：『初心の日』の設定 とイベント
4. アイディアの概要（200 字以内）：

イベント案です。

年に1～2回『初心の日』を設け、全国的なイベントの日(週)とします。

基本コンセプトは、初心者応援、思いやる日であり、

OM も初心に返り、マナー・ルールの見直し、再・新チャレンジなど、先輩

としての背中を見せる日を目指します。

公園・広場などでイベントとするもよし、どこにいても気軽に参加出来る

もので、会場連携で体験通信は勿論、OM による実演や実験、様々な魅力を見せる場を目指します。
5. 詳細説明（図表を含めて4 頁以内）：

添付資料： アマチュア無線『初心の日』の設定 とイベント.pdf
6. 参考情報（任意）
 - ・参考資料：資料名 （PDF ファイルを添付）
 - ・Web 情報：タイトル、URL

アマチュア無線

『初心の日』の設定とイベント

何か個別技術などのアイデアではありません。 定期的、全国的なイベント的な提案です。

はじめに、・・・私事ですが

免許を取っても、活用方法が見出せず。・・・玩具のトランシーバーの延長??

私自身、中学生時代に電話級を取りましたが、2mFMのみ遊んで終わってしまいました。

今思えば、どの様に活用するか分からず、玩具トランシーバーの延長としか見ていなかったのかもしれませんが。

奥深さ、活用範囲の広さを知る。

数年前、技術的な側面で再度無線に着目し、勉強し直したのですが、

丸暗記ではなく、しっかり勉強してみて、奥深さ、目的・活用の広さを知りました。

電話・CW・SSB・HF海外通信のみならず、電子工作、アンテナ作り、FT8、EME、ギガ通信等々、様々な目的・活用方法があり、また、決して古い廃れゆく技術ではないと実感しました。

もし、色々な活用方法を知っていたら・・・

再開後、初心者講習会を申し込み参加する事が出来ました。また参加したいという思いを持ちましたが、基本的な体験交信だったので、上級者の運用を見てみたかった、難しい運用を見学したかった。

そんな感想を持ちました。

もし、子供（初心）の頃に、活用方法、目標を見い出せていたら。身近にそれらを知る切っ掛けがあったら。

そんな事を思いで、もっと気軽に参加出来る場があればと、再開間もない私自身が欲しています。

<<< 設定 >>>

年に1回または2回(春・秋など)『初心の日(週)』を設ける。(全国交通安全週間の様なもの)

<<< 基本コンセプト >>>

『初心応援・初心に戻る 日(週間)』： 初心者を気につけ、優先・手本となる運用を心掛け、初心に返って学び・再確認・チャレンジを目指す。

<<< 趣旨 >>>

初心者が気軽に、知る・学ぶ・体験する事ができ、興味、目標を持てる機会となる事を目指す。
先輩もルール・マナーや運用スタイルを見直したり、初心に返って新(再)チャレンジを目指す。
また、それらを通じ先輩としての背中を見せる。
これらにより、育成と関心の拡がりを構築する。

※ 普段通りの運用に少しだけ『初心』を意識するだけでもよし。

<<< イベントに関して >>>

上記を元にすれば、各地域や団体で様々なイベントを行う事も可能です。
なるべく自由度を高め、気軽な開催・参加を目指し、主催側の自由な発想や参加者の裾野を広げます。
(基本コンセプトに即していれば、各地域、団体、個人、自由な開催・内容を可能とします。)
初心者向けでは体験系が主体になると思いますが、各会場間の連携、先輩OMさん常置場所からの応援や、144/430MHz FMだけでなく、SSB、FT8、CW など、様々な初心者に対応が可能となります。
他、ベテランのみの実験イベントというものも在って良いと考えます。

※※※ 次ページに案を羅列

<<< イベントの場所 >>>

基本的に自由・どこでも(イベント会場もあれば、常置場所・電波上だけでも可)

基本会場：各地域のJARLやクラブ・各種団体が申請した場所(公園・広場・学校、公共施設・山や自然の中など)

任意の飛入り：個人的・仲間内だけの場所、旅先、山頂などから飛び入り参加。 など

アマチュア無線

『初心の日』の設定とイベント

以下、イベントを行った場合、勝手に思いついた例です。その他、アイデア次第で色々な案が出てくると思います。

単なる例であり、何でも全て揃える必要はなく、運営側の人材次第、ニーズ次第、環境次第など、可能な事だけで良いかと思います。自由開催です。

初心者向け

- ・交信体験(総務省規定の交信体験制度)
- ・交信体験(自リグでの初心交信)
- ・交信体験からのステップアップ
(SSB・レピータ活用・D-STAR・C4FM・430/144以外の交信)
- ・初心としてのロールコール、非常通信訓練への体験参加
- ・ルール・マナーの勉強
- ・先輩OMのからの指導
- ・先輩OMの様々な実運用の実演の見学・講習
- ・CW・FT8・EME・海外通信など上級通信の見学・講習
- ・CW初心者の交信体験や講習(3級以上)
- ・先輩OMの実験の手伝い(会場内外との交信テストなど)

無資格者向け

- ・交信体験(総務省規定の交信体験制度)
- ・工作・実験体験や手伝い
- ・無線活用の実演見学

開催者に関して

交信体験などを考慮すると、全体（情報）のまとめ役は必要になるかもしれませんが、基本的には各会場単位。

- ・各地域の主要会場（各地域のJARLなど）
- ・近隣の任意団体など（クラブ・学校・企業・個人有志 など）
- ・個人などの飛入り参加 など

※ 公認・非公認などの区別は必要になると思われ、安全面など規定も必要かと思いますが、基本的に自由度を保ちたいところです。

中級者以上

(1) 先輩OMとして

- ・任意の場所から、初心者交信体験の応対
- ・初心には難しい交信の実演(HF・SSB・CW・FT8など国内外交信)
- ・ドローン活用などの実演

(2) 初心に返って

- ・初心に返って、ルールの見直し
- ・ステップアップの切っ掛け
- ・ステップアップ後の再度「初心者」として(気軽に戻れる場)
・・・3級CWなど
- ・様々な新(再)チャレンジ
- ・技術的なチャレンジと協力(手伝い)者探し

※ 自宅から参加が可能なものは、必ずしも会場に出向く必要はないと思います。

会場に関して

基本自由・電波上だけでもあり。

- (例)・公園・広場・学校・商業施設・ビル内外や屋上・高原や山頂
・上級設備のある場所(企業・個人) など

参加費用等は、基本的に無料が望ましいでしょうが、会場、内容次第、任意設定。

おわりに、

何か個別技術などのアイデアではありません。 定期的、全国的なイベント要素として広い意味を持たせる事で、今回の応募要件である、提案カテゴリー（A／B）両方に繋るものと思います。

<提案カテゴリー>

A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイディア

B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイディア

「年末の交通安全週間」と同様で、少しでも初心（者）を意識した運用となるだけでも良いのではないかと思います。ガチガチにルール化したイベントではなく、気軽なものであり、普段運用のOMさんがいても良いと思います。周りが初心者を意識していれば、その内、自然と初心者を気遣ってもくれるのではないのでしょうか。昭和のブーム時にマナー悪化という問題がありましたが、誰にも教われず我流が増えた事もあったのではと考えます。この定期イベント化にて、同様の事態を回避する対策、ルール・マナーを周知、再認識する場になるとも思います。

無線から離れた人が、外出先で見かけたイベントに立ち寄ってみたらこのイベントだったという気軽さです。もしイベントとして定着出来るならば、様々なアイデアも集まり広げていってくれるものと期待できます。

イベントに拘らず、まずは、「初心の日」を設定、その週を『初心応援・初心に戻る 日（週間）』として、意識・気遣うところから初めてみるだけでも、宜しいかと思います。

以上